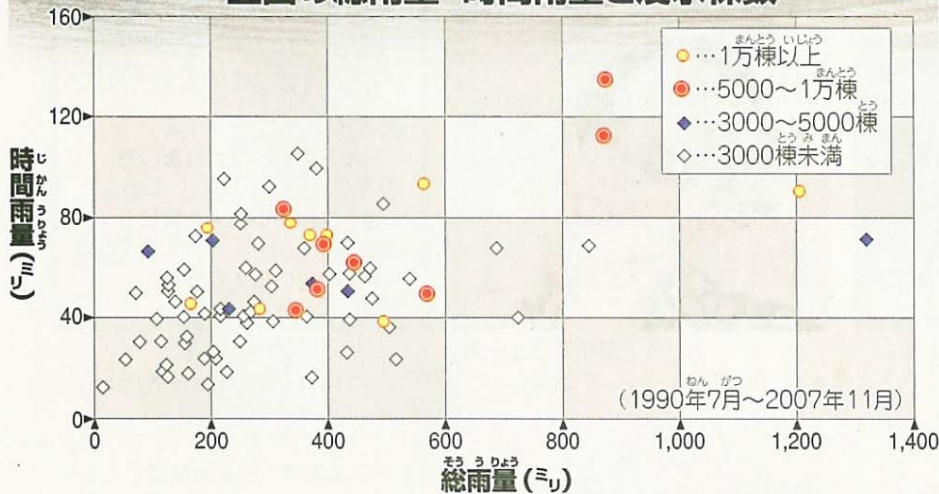




集中豪雨で冠水した甲府・富士見通りの  
JR中央線高架下

全国の総雨量・時間雨量と浸水棟数



(1990年7月~2007年11月)

こうした危険性のある場所  
所は、天気の良い時にみ  
なで一度見ておくと対応が  
とりやすいでしょう。危  
い場所はマップに書いてお  
くと、もっと良いですね。  
(山梨大医学工学総合研  
究部社会システム工学系  
末次忠司)



よなかふしぎわ  
世の中には不思議で分かりづら  
いことがたくさんあります。自然、  
科学、歴史など、詳しい先生に解  
き明かしてもらいましょう。

# 水害は人ごとじゃない!! 日ごろから対策考えよう

これから8月、9月と台  
風の季節を迎えるにあたつ  
て、水害への備えをしまし  
よう。「水害って何?」と  
思う人も多いでしょう。山  
梨県では起こらないのでし  
ょうか。

## 山梨でも起こる

以前、日本では各地で水  
害が多発しました。多い年  
は5千人以上が亡くなり、  
数十万の家が被害にあい  
ました。山梨県でも195

9(昭和34)年の台風7  
号では、死傷者851人、  
66(同41)年の台風26号で  
は、死傷者224人を記録  
しました。

最近では大きな水害は少  
なくなってきましたが、そ  
れでも短い時間にたくさ

んの雨が降る、いわゆる「ゲ  
リラ豪雨」による水害は多  
く発生しています。甲府市  
でも2004(平成16)年  
に76ミリの時間雨量(1時  
間でたまった水の深さ)が  
発生して、相生地区で10

0軒以上が浸水する被害が  
出ました。一般的な目安と

して、時間雨量が40ミリ以上  
で被害が発生、70ミリ以上で  
大きな被害が発生すると  
考えておきましょう(グ  
ラフ)。

このような災害には、ど  
う対応すればよいのでしょ  
うか。雨が降ったら①雨や  
洪水の情報をよく聞く②  
避難するときは早めに避難

する③避難しない場合は家  
に高い所を設けておくー  
の3点を心掛けましょう。

避難できる目安は、小  
学校高学年の児童で水深20  
センチです。避難するときはみ  
んなでロープを持って、ま  
た足もとが危なくないかど  
うかを棒で確かめながら歩  
くようにします。

## 地下施設は要注意

事前の対応では①浸水し  
やすい場所を知っておく②  
避難所や避難する道路を調  
べておく③集合場所を決  
めておくこと④の三つが大  
事です。逆にやってはい  
けないことは、川や水路を  
見に行くことです。

川の氾濫だけでなく、下  
水道でも浸水が始まった  
ら、10分間で10~20センチ水  
位が上がることに注意し  
ましょう。特に地下施設は  
水が速く上昇します。斜  
面や道路では速いスピード  
で水が流れますし、JR  
中央線の下をくぐって  
通る道路(アンダーパス)  
は水が一気にたまって危険  
になることがあります。